



特別寄稿

# 万博を契機とした未来社会への飛躍 京都が持つ強みへの期待

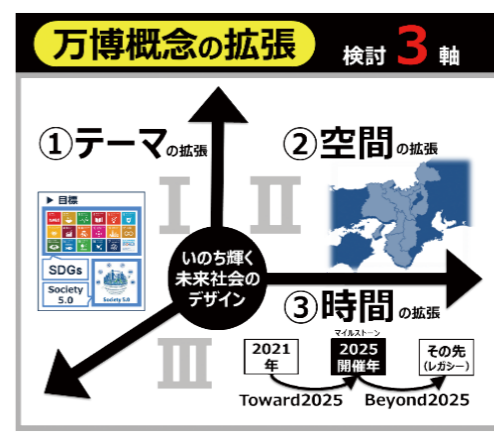
近畿経済産業局 総務企画部 2025NEXT関西企画室

大阪・関西万博は2025年4月13日から10月13日までの半年間、大阪湾にある人工島「夢洲」で開催されます。これまでの数々の万博は平和的なイノベーションの加速装置として大きな役割を果たしてきました。本万博のテーマとして掲げられているのが「いのち輝く未来社会のデザイン」です。サブテーマにおいても「いのち」をキーワードとしており、京都、大阪、神戸をはじめとした多くのライフサイエンス拠点がある関西の強みが発揮されることが期待されています。また、コンセプトは「未来社会の実験場」であり、空飛ぶクルマをはじめ未来社会を想起させる技術が披露されることでしょう。

## 万博が持つ力を関西の力に （万博活用戦略）

近畿経済産業局では、この大阪・関西万博の未来の力を、関西全域の産業と地域の力として定着させるための取組として「万博活用戦略」を推進しています。「万博活用戦略」とは、万博の求心力やインパクトを、会場である大阪・夢洲だけでなく、関西一円に拡張しようという概念です。拡張は、万博会場から関西という

『空間』だけでなく、『テーマ』、『時間』の3軸の拡張を指します。テーマの拡張とは、本万博のキーワードである「いのち」や「SDGs」は、様々な主体がそれぞれの切り口で取り組むことができるテーマであることから、地域の多様な主体の取組自体が万博のテーマと結びつくものという考え方をします。



時間の拡張とは、万博を単なる一過性イベントと捉えるのではなく、開催前、また2025年以降の社会を念頭に置いた視点で万博を捉えるという考え方をします。このような『テーマ』『空間』『時間』の3軸の拡張によって、今後の戦略を立てることを、近畿経済産業局では「万博活用戦略」と称しています。

京都は、世界有数の歴史・文化の宝庫であり、多くの観光客を惹き付けてきましたが、これに加えて、伝統産業で育まれたものづくり技術、スタートアップ、ライフサイエンス、府内全域に存在する地域ブランド等、万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」につながる様々な魅力を持っています。大阪・関西万博の会場からの優れたアクセスや万博のテーマとのつながりを活かしながら、これらの魅力を世界に発信し、新たなビジネスにつながる絶好の機会が大阪・関西万博です。

## 大阪・関西万博は多様な参加者が主役になる 「参加型万博」

大阪・関西万博への参加の方法としては、パビリオン出展をはじめ、テーマ事業協賛、未来社会ショーケース事業など、いくつかの種類があります。その中でも、万博会場内にとどまらない、多様な主体による活動を登録するプログラムがあります。博覧会協会が募集している「TEAM EXPO 2025」プログラムです。「TEAM EXPO 2025」は、大阪・関西万博の開催に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、

SDGsの達成に貢献するため、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げていくことを目指す取組です。また、実践的で優れた取組を会期中に会場内のベストプラクティスエリアで展示、あるいは、会場外やオンライン上でも発信し成果を披露するなど、会場の内外を問わず、多様な参加者が主体となる「参加型万博」を体現するものです。

## 会場の内外を問わず 未来へ向けたアクションに期待

近畿経済産業局では、「万博活用戦略」の一環として、大阪・関西万博をきっかけに多くの人や企業に対して「TEAM EXPO 2025」の取組のような夢洲の会場内外を問わない様々な未来に向けたアクションについて、各活動の魅力を伝えるため、万博開催時及び開催後に向けて飛躍が期待される関西の活動をまとめた「360° EXPO 拡張マップ」万博と共に注目すべき関西の活動群（略：マップ）を2021年10月に公表しました。

第一弾として公表した本マップでは、大阪・関西万博と共に発信したい関西の魅力として、京都、大阪、奈良の3府県にまたがる、我が国を代表

するサイエンスシティである「関西文化芸術研究都市」での実証実験や、京都で実施されている「DESIGN WEEK KYOTO」、「DESIGN WEEK TANGO」をはじめとする地域一体型オープンファクトリーの事例などを紹介しています。

本マップに掲載している取組は、万博を機にさらに大きく飛躍する可能性を秘めています。2025年に向けて、京都府内の多くの地域で、様々な取組が万博開催を契機として、広がっていくことを期待しています。全世界が注目する2025年には、万博の来場者等が、関西地域に関心をもつきっかけとなるよう、引き続き本マップの内容を充実させていく予定です。

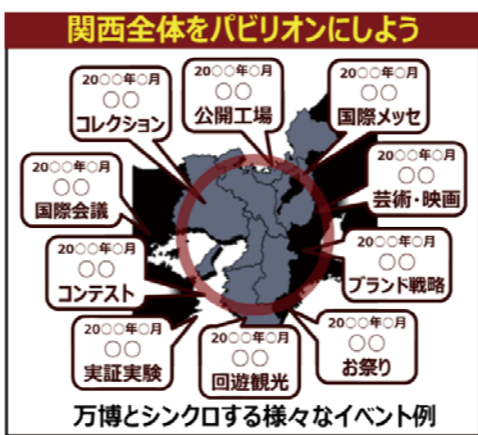


大阪・関西万博が、会場のみならず各地で未来社会に向けた取組が促進される契機となり、2025年以降も万博のレガシーとして万博が示した未来社会が京都、及び我が国で実現されることを期待します。

## 万博は京都の魅力 世界にアピールする機会

大阪・関西万博の来場者は、約2,820万人と試算されています。例えば、大阪・関西万博を訪れる約2,820万人を万博会場だけではなく、関西さらに周辺の各地域に誘客することで、その地域ならではの魅力を知ってもらうなど、大阪・関西万博の開催は、観光・食・文化をはじめとした、それぞれの地域が持つ魅力を世界にアピールする絶好の機会です。

近畿経済産業局では、大阪・関西万博をきっかけに多くの人や企業に対して、会場内だけではなく会場外も含めて、「関西全体をパビリオン」と見立てて関西の魅力を発信するための活動をしています。



大阪・関西万博に関する過去記事はこちら

 <b>【5・6月号】</b> 基本計画の概要	 <b>【7・8月号】</b> プロデューサー一覧・TEAM EXPO2025の概要	 <b>【9・10月号】</b> 京都企業・団体も参加できる多様な枠組みをご紹介します
 <b>【11・12月号】</b> 万博と社会的意義 ～京都に万博のレガシーを～ 大阪府立大学研究推進機構 特別教授 橋爪 紳也氏	 <b>【2022年1・2月号】</b> 「未来社会の技術・サービス」を万博会場から世界へ発信	

2025年日本国際博覧会〔略称「大阪・関西万博」〕会期 2025年4月13日～10月13日